

令和4年度第3回四街道市みんなで地域づくり推進委員会 会議要旨

日時：令和5年2月13日(月) 午前9時30分～午後12時00分

場所：四街道市文化センター301号室

出席者(委員)：大下委員長、日野副委員長、福本委員、田中委員、中村委員、野口委員

出席者(事務局)：荒巻政策推進課長、小貝課長補佐、石渡係長、櫻井主事、淑徳大学生(研修生2名) みんなで地域づくりセンターコーディネーター(2名※議事(1)のみ。)

傍聴人：5名

―― 会議次第 ――

- 1.開会
- 2.委員長挨拶
- 3.議事
 - (1) みんなで地域づくり事業提案制度(令和5年度実施分)プレゼンテーション
 - (2) 提案事業の審査
- 4.その他
- 5.閉会

―― 会議の内容 ――

1. 開会

(事務局)

定刻になりましたので、ただ今から、令和4年度第3回四街道市みんなで地域づくり推進委員会を開催いたします。

本日は6名のご出席をいただいております。四街道市みんなで地域づくり推進委員会要綱第7条第2項に規定する過半数に達しておりますので、本日の会議は成立いたします。

それでは大下委員長よりご挨拶頂きまして、四街道市みんなで地域づくり推進委員会要綱第7条に基づき、会議の進行をお願いいたします。

2.委員長挨拶

――省略――

(大下委員長)

―― 会議録の発言者明記について ――

議事に先立ちまして、会議録における発言者名については、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっております。

本委員会においても明記する取扱いとしたいと思いますが、委員の皆様のご意見をお伺いします。

(異議なし)

異議なしと認めます。

——会議の公開、傍聴人への資料配布及び傍聴人の確認について——

会議の公開・非公開につきましては、議事「(1) みんなで地域づくり事業提案制度（令和5年度実施分）提案事業の公開プレゼンテーションについて」につきましては、広く市民の方に見ていただくために例年どおり公開とさせていただきます。

議事「(2) 提案事業の審査」につきましては、四街道市情報公開条例第8条第1項第5号に該当するため、非公開とさせていただきます。

また、会議資料につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、議事次第については、配布するものとされておりますが、その他の資料の配布については本委員会の判断によるものとされておりますので、例年通り、コラボ四街道提案事業一覧を配布することとしてよろしいか、委員の皆様のご意見をお伺いします。

(異議なし)

異議なしと認めます。

次に、本日の進行について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

説明に先立ちまして、一点ご報告がございます。

「こども食堂ピーチク・パーチク」より、2月6日付で、提案事業の取り下げの申請がありました。大きな理由としましては、活動場所である「icoba 四街道一丁目」の次年度以降の運営状況が不透明であることを挙げています。

子ども食堂の活動自体は続けて行きますが、安定した活動地盤を整えてから、再度コラボに提案したいとのお話を頂いております。

このため、本日は3事業の審査へと変更となりますのでよろしくお願いいたします。

では、本日のプレゼンテーションについての説明です。

- ・推進委員の皆様は、公開プレゼンテーションの内容を踏まえた上で、改めて評価表への記入をお願いします。
- ・各団体につき、プレゼン時間7分、質疑応答時間7分とします。それぞれ終了「3分前」、「1分前」、「終了」時にそれぞれチャイムを鳴らしますので目安としてください。(※交

替は2分程度とします)

- ・提案団体に対する質問は簡潔にお願いします。事前質問と回答をもらった団体については、同様の質問はお控えください。
- ・評価票コメント欄の記載は必須ではありません。特に採否にあたって記載したい事項がある場合について記入してください。
- ・すべての団体のプレゼンテーション終了後に審査ののち、評価票を回収します。
- ・プレゼンの終了は10時40分から50分頃を予定しております。その後休憩を挟みまして、議事「(2)提案事業の審査」に移ります。

なお、本日はみんなで地域づくりセンターコーディネーター及び淑徳大学から2名研修生として、事務局に参加しています。

説明は以上となります。

(大下委員長)

何か質問はありますか。

(特になし)

(大下委員長)

9時50分から議事の(1)みんなで地域づくり事業提案制度の公開プレゼンテーションを開始しますので、時間までに着席をお願いします。

3.議事

(1) みんなで地域づくり事業提案制度（令和5年度実施分）プレゼンテーションについて

—プレゼンテーション内容省略—

1. ちょこっとクラブ
2. よつかいどう学生服リユース
3. 笑うベスマホ庵

(以下質疑応答や意見等要旨)

1. ちょこっとクラブ

(田中委員)

千代田中学校地区は集える場所が少なく、高齢化率が60%程度もあるため、集いが必要な地区だと思います。千代田中学校地区のリーダー的な活動として、ノウハウを地区で共有してほしいと思います。応援しています。

(野口委員)

ちょこっとクラブはいろいろな活動をされていると思いますが、オープンカフェにした理由として、遠くに外出できなくなった高齢者でも、月 1 回くらいはちょっとした贅沢を地域で楽しみたいというコンセプトだと思うので、そのコンセプトを明確にしたほうが良いと思いました。

(大下委員長)

都市部の自治会運営が停滞している中で、市民活動との連携が今後必要になってくる時期が来ています。連携することで更にニーズが高まると思います。また、カフェは大事な居場所です。例えばイギリスではどんな地方でもカフェと教会があります。それは地域の中でみんなが集える場所となり、交流が進んでいく 1 つの通例となっているのがカフェです。限られた地域の中だけではなく、他の地域からも参加があると広がりが出るので、今回の事業がきっかけになれば良いと思います。

(団体)

ちょこっとクラブはスポーツを中心に活動しています。自治会連携については、自治会役員の高齢化もあり、スポーツのイベントも中止になっています。また、自治会役員のなり手もないため、ちょこっとクラブの活動によって、地域の人たちに運動の機会を増やしたいと思います。

今後は自分たちでも資格を取り、バリスタだけに頼らず運営できるようにしたいと思います。

(中村委員)

西中学校 B 地区で役員をやっていますが、桜ヶ丘区の集会所の事務員の方から、休憩所を始めるとい話を聞きました。今回の提案を聞いて参考になりました。

(団体)

ぜひ見学に来てください。

(日野副委員長)

新しい取り組みであり、これからのウィズコロナ時代において、大変参考になりました。カフェを皮切りに他のイベント等と連携させてください。

2. よつかいどう学生服リユース

(日野副委員長)

社会的に意義のある取り組みだと感じました。

現在在庫がどのくらいあり、目標値としては、どのくらいの在庫を想定していますか。

(団体)

旭中学校、四街道北中学校、四街道中学校、四街道西中学校、それぞれ2セットずつしかお渡しできる制服がありませんので、回収が課題となっています。市内でのニーズが1学年90人と仮定した場合、その10倍は在庫が欲しいと考えています。

(日野副委員長)

もう1点感想となりますが、ママ友を中心としたコミュニティ作りのきっかけになると良いなと思いました。

(中村委員)

とてもいい取り組みだと思います。子育てを経験しましたが、学生服は非常に高いと思いますので、この事業はとても良いと思います。

(野口委員)

学校ごとの学生服を用意する必要があると思いますが、在庫数のバランスを取るため、他の団体と協力することは検討していますか。

(団体)

四街道市PTA連絡協議会の協力が必要と考えています。2月17日に訪問する予定ですので、今後ご協力をいただければと考えています。

(福本委員)

SDGsや物価高騰にも貢献している事業だと思いました。週2回の活動とのことですので、行政も含めて繋がることで、事業の周知もできると思います。

(団体)

ぜひご協力をお願いします。

(大下委員長)

ニーズはいつ頃が多いですか。

(団体)

12月に入ると学生服の販売業者から学校にチラシの配布を行いますので、そのころにニ

ーズが高くなります。

(大下委員長)

ニーズも高く、企業として成立する可能性も高いと思います。採択されましたら地域やSDGsの貢献のためにも事業を進めてください。

3.笑うベスマホ庵

(福本委員)

いろいろな企画につなげられる良い企画だと思っています。高齢者は情報弱者になりやすいと思います。月1回の入門クラスと憩い、合わせて3回ありますが、憩いの参加率は高いのでしょうか。

(団体)

現在憩いは開催していないため、今回の提案が通れば地域社会の交流ということで憩いを開催したいと思っています。

(福本委員)

意識を高く持って頑張ってください。

(田中委員)

繋がりのある団体等に出張講座を検討していますか。

(団体)

依頼があれば行きたいと思っています。市内でスマホができない人がいなくなるのを目標としています。

(田中委員)

地域の団体と連携できればと思いますので、ぜひご活躍ください。

(団体)

アンドロイドのスマホは多様性があり、サポートがないと難しいです。現在使用しているプロジェクターは視認性が悪いため、高齢者にとっては特に学習効果・集中力低下に繋がります。そのため、今回プロジェクター等の購入を提案しています。

(野口委員)

憩いでフォローアップについて、講師の確保が難しいと思いますが、学生ボランティ

アを検討していますか。

(団体)

愛国学園や東京情報大学の学生を想定して、連携できないかと考えています。

(野口委員)

本事業では憩いが大切になってきますので、ここを重要ポイントとして頑張ってください。

(日野副委員長)

最近高齢者の方が、スマホによる消費者トラブルに巻き込まれることが多いですが、注意喚起の講演等を検討していますか。

(団体)

これまでも実施しています。

(2) 採択事業の審査について

—(非公開)—

4.その他

—省略—

5.閉会

—省略—

(以上)